

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 塔野 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

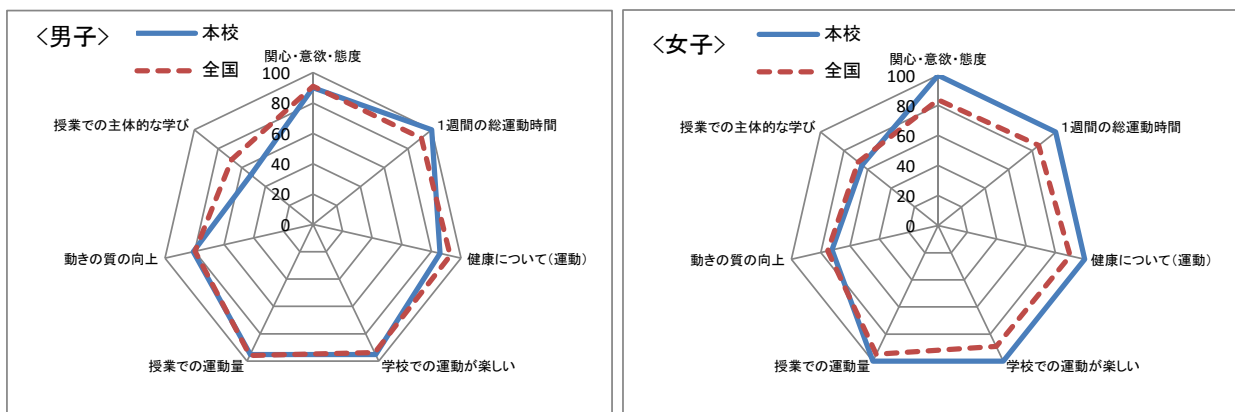
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

運動についての関心や1週間の総運動時間、運動を楽しんでいる児童は全国の平均を上回っている。特に、女子においては5つの項目で全国平均を上回っている。しかし、健康であるために、運動やスポーツが大切であると感じている男子児童の割合は全国平均よりもやや下回った。また、授業での主体的な学びについて、自分で目標を立てて取り組んでいる児童の割合は男女ともに全国平均よりもやや下回った。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・全校で「北九州市体力向上プログラム」に取り組んでいく。
- ・授業の初めに共通の目標を設定し、その目標達成のために練習方法や場づくりを工夫する。
- ・学習カードに自分の目標を書き込ませ、その達成を意識して取り組ませる。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・「体育発表会」(なわとびを主とした表現運動)を計画・実施した。
- ・「なわとびコンテスト」を計画し、中休みに学年ごとに音楽に合わせてなわとびを行う。(今年はコロナ感染防止対策のため中止した。しかし、全児童になわとびカードを配布し、体育科の準備運動や休み時間に活用することを指導し、運動習慣作りを推進した。)
- ・学校だよりで取組を紹介し、保護者や地域への啓発を行った。